

市政に関する

一般質問

要旨

第4回定例会では、25名の議員が質問を行いました。質問は、インターネット上で録画をご覧ください。

YouTube 多摩市議会 で検索してください。

YouTube 多摩市議会



YouTube
多摩市議会チャンネル



多摩市議会会議録
検索システム



タイトル：原峰公園冬景色
撮影者：春山祥夫さん(市内在住)
撮影場所：多摩市原峰公園内
〔原峰木橋〕



大くま真一 (日本共産党)

1. 軍用機の騒音・危険から市民を守れ
2. 蜂の巣 駆除から防除へ～多様性を
3. ごみ出し支援で包括的暮らし支援を

問 横田基地のオスプレイが墜落し、市民の不安が現実のものとなった。これまでも危険性を指摘し、市にも声を上げることが求めてきた。どういった対応をとるのか。

答 市長会見でも事故を取り上げた。基地に関わる情報提供などについて米軍や自衛隊と緊密に連絡を取る。

問 今夏は猛暑の中、蜂の巣についての相談が多くあった。トンボの模型やダミーの蜂の巣を吊るすことで、駆除ではなく、防除する手法があるが検討されたか。

答 現在は蜂の巣の除去を行っている。新たな手法については注目して行きたい。

問 市のごみ出し支援が広がっていない。集合住宅での申請支援やニオイのでない支援用の共同収集箱の活用、さらに玄関先での収集を検討すべきではないか。

答 まずはスタートしたごみ出しサポート事業の周知や申請支援を通じ利用促進をはかる。共同収集箱は市での設置は難しいが、事業者によるものはありうる。集合住宅での戸別収集は必要性を精査していきたい。



多摩市上空を編隊を組んで飛ぶヘリコプター



藤條たかゆき (あすたま・維新)

1. 地域交通の最適化に向けて
～今こそライドシェアの議論を～
2. 安全で快適な自転車環境に向けて

問 国や地方自治体でも、ライドシェアの議論が盛んになってきている。多くの諸外国ではすでに解禁されており、新しいイノベーションによって新規参入を促し、新たな民間活力を導入して公共交通のみに頼らない持続可能な地域交通を維持していかなければならない。地域の足、地域交通はまさに地域の存立基盤であり、移動の積み重ねが、日々の生活、いわば人生そのものである。人生にはたくさんの選択肢があった方が豊かになる。市民の移動の「選択肢を増やす」ということにおいて、極めて重要なことであると思うがどう考えるか。

答 本市で実施するためのハードルは高いと考える。

問 地方や都市部、または観光地等でそれぞれのニーズに応えるサービスも異なってくる。地域のニーズに即した交通サービスを実施できるよう話し合う場がまさに多摩市地域公共交通会議だが、検討はされているか。

答 ライドシェアに関する議論がこれまでなされた記録はない。



折戸小夜子 (多摩の風)

1. 食は命 ～子どもたちの未来は
私たちひとりひとりの大人の責任
2. 多摩センターバス乗り場の整備を

問 日本の食卓には農薬が多用され、命を脅かす危険性に危機感がある。日本では、世界49カ国が禁止、規制しているネオニコチノイド系農薬を使用しているため、現在日本人のほぼ全員の尿から農薬が検出されている。文部科学省が2022年に発表した通級指導を受けている児童生徒数は164,693人と急増しており、その大きな要因に食の問題があるという声もあり問題は深刻である。考えを伺う。

答 輸入生産物の残留農薬や食品添加物の基準値は国が安全基準値を定めていると認識している。

問 子どもたちの健全育成のためにオーガニック給食に転換している市町村が増えている。市の今後の方針を伺う。

答 国の動向も学校給食をオーガニックに転換していく流れであるので、給食センターの建て替えに向け方針を考える。

問 街の玄関である多摩センターバスターミナルが汚い。早急な改善を求めるがいかかか。

答 ご指摘のカマボコ型屋根は本年中に撤去予定である。

